

平成27年度（2015年度）第3回
箕面市立図書館協議会会議録

箕面市立図書館

- 1 日 時 平成27年(2015年)12月15日(火)
開会 午後2時30分 閉会 午後4時30分
- 2 場 所 箕面市立西南図書館 2階 視聴覚室
- 3 出席委員 渡邊 智山 会長
日根 真理 副会長
藪本 正博 委員
生島 正代 委員
山村 則子 委員
増田 由香 委員
忽那 正 委員
笹川 実千代 委員
勝間田 麻也 委員
涌嶋 卓 委員
- 4 傍聴者の有無 3名
- 5 出席職員 齊藤 堅造 子ども未来創造局副理事
大迫 美恵子 中央図書館長
尾藤 千枝 東生涯学習センター館長兼東図書館長
小松 紀子 萱野南図書館長
岡 順一 西南図書館長
岡本 英子 小野原図書館長
三宅 正久 中央図書館事務職員
宮崎 花菜 中央図書館事務職員
- 6 議事日程
- 日程第1 (議案第3号)
箕面市立中央図書館改修利用者アンケートについて
→箕面市立中央図書館改修利用者アンケートについて説明。
意見交換
- 日程第2 (議案第4号)
箕面市立西南図書館の概要について
→箕面市立西南図書館の概要について説明。館内案内。
意見交換
- 日程第3
その他
→図書館システム更新の進捗状況について説明。

【会議次第】

○日程第1（議案第3号）

箕面市立中央図書館改修利用者アンケートについて

事務局から、中央図書館の平日の滞在利用者層が限定されるのは、親子連れが他の利用者に気兼ねして利用しにくい雰囲気のためと考え、改修は親子連れでも利用しやすい雰囲気や設備を整えることが目的であったこと、そして、アンケート集計結果資料の概要と、回答全体からは改修目的は達成できたと思われると説明。

委員： 自由記述の改修前と後を比較して、どう理解すればよいかわからない。先ほどの説明で「当初の狙いは達成したように思う。なお、不足があるかどうかは今後内容をさらに検討して対応策を考えていきたい」とのことなので、分析結果がもう少し詳しく出るまで議論を置いておいてはどうか。

自由記述の内容をどうくみ取るかが非常に難しい。委員の意見を含めて傾向や感想を述べることができるならば、議論を進めていけばよいと思う。

委員： 一週間という短い期間のアンケートなので、意見が網羅されているわけではない。今後、図書館を運営していく中でいろいろな意見が出てくる。アンケートは難しく、意見を表さないかたも存在するので、もう少し長い目で見た方がよい。

平日の利用率が増えたということだが、平日の利用率はどのように出しているのか。

事務局： 滞在利用を増やすのが目的なので、貸出冊数や来館者数だけでは計れない。滞在利用者数を集計しているわけではないが、実際に利用状況を見ている中では、平日に様々な年代のかたが利用されるようになったと感じている。

委員： 職員の印象だけで、数えてはいないということか。

事務局： 入口ゲートで出入りは集計しており、来館者数は増加している。

来館者の増加分がそのまま貸出冊数増につながっているわけではなく、貸出冊数は少し増加という状況である。

会長： 今後はいかに新規の登録率を上げるかが課題ではないか。親子連れでも快適に過ごしたいというニーズがあって議論を重ね、このような改修になったと思う。アンケート回答からは、親子連れにとっては大変良い傾向にあるとしても、50代・60代からは少し反対

の意見もある。それをどのようにくみ取り対処するのか、方法が明らかになればよいのだが。

委員： まだ改修して日が浅いので、「今の時点で目的を概ね達成したと考えられる」というのが全体の考察だと思うが、自由記述からは本の並べ方が今までと違うことで戸惑いがあるように読み取れる。また大人向けのスペースで「座る場所が少ない」、「対面で本が読みづらい」など、今すぐ工夫できるような項目はできる範囲で改善し、定期的にアンケートを行うことで変化も見えてくると思う。子ども連れにはよい評価だが、大人のスペースでの現時点での課題を整理しているのか、また改善方法を考えているのか聞きたい。

事務局： 一般エリアの座席数は、一般エリア全体で見ると増えている。改修前と比べると1階の座席が少し減っている。2階が比較的空いており、1階・2階共に満席という状況は今までない。2階の利用を促すようにしたい。

対面で居心地が悪いという意見については、1階のスペースで改善の実現が難しいので、1階と2階を使い分けていただけよう、工夫をしていきたい。

委員： 2階にも席があると周知を進めていくということか。

事務局： 現在でも、1階の席に、2階の席も利用できると案内はしている。

本が減ったと回答されているかたも、2階に本が移動したこと気がついていない可能性がある。本の場所が分かりにくいという意見については分かりやすい案内や表示の仕方を継続して考えていきたい。

委員： 改修前から利用されていたかたが、新しくなって戸惑っているように感じる。

委員： 問題点はそこそこ把握されているようだが、それを踏まえて来年度予算に反映させる予定はあるのか。予算の見込みにより、協議会としてもどの程度の話をするれば良いのか、およその検討がつくのではないか。

事務局： 予算を伴うほどの手直しは考えていない。

委員： 例えば、自由記述にある「テラスが雨の時に使えない」ことへの対策は屋根をつけるなど、予算がなければできない。

事務局： 4月の改修から半年が経過したので、当初の改修目的にかなうものになっているのか、アンケートで意見をお聞きした。いろいろ意見はいただいたが、まだ改修したばかりなので、平成28年度予算で工事・修繕などの予算要求は検討していない。周知であったり、

すぐにできることは対応していく。今後、改修した方が良いところがあれば予算の要求も検討する。

委員： アンケートは継続的に実施すると以前説明を受けたが、今後も実施するのか。

事務局： アクションプラン実施後の利用動向の調査は継続的に行うと説明した。

委員： 利用者ニーズについては想定していなかったということか。それでは、自由記述の軽重をどう判断するか、このままでは論評するのが難しい。

委員： 図書館として改修やアンケートをするにあたって、来館者数や貸出冊数など、なんらか達成したい目標値は設けているのか。そういう目標値がなく、漠然とアンケート結果を見ても判断しにくい。

事務局： 箕面市の図書館は他市の同規模の自治体と比べても、全体でみると利用の多い図書館であり、改修によってさらに貸出冊数を何%伸ばすというような目標は持っていなかった。図書館を利用しない、読書をしない層の利用増は難しい。そのため、利用したいと思っている、あるいは実際に来館しているのにゆっくりできない層の、利用を阻害しているところを改善することで、現在来られているかたにはもっと来館してもらい、それによって今まで図書館に来館したことがないかたにも来てもらえる図書館になるのではと考えた。また、子ども向けのスペースを充実させたのは、このスペースを利用する子どもたちが、成長した後も図書館を引き続き利用すれば、長期的に捉えると図書館利用者増になると考えたからである。短期的な目標値は持っていない。

委員： 子どものころからもっと本に親しんで、成長して行って欲しいということか。子どもが小さいうちは親が連れて行かなければいけないので、親と子が過ごしやすくするための改修で、その利用者が増えて良かったと思うが、反面、50から60代のかたは、レイアウトなどが変わったことで本が探しにくくなり利用が減ってしまうという悪影響がアンケートから感じられる。両者が共存できるように改善できたらよいと思う。

事務局： 図書館としても、アドバイスや意見をいただきたい。

会長： アンケート結果の範疇での議論になるが、内容を読み取って、協議会委員として箕面市の図書館にしてもらいたいことなどの意見をいただきたい。

委員： 栗生幼稚園の保護者会議で、図書館協議会のことを報告した。中

中央図書館のリニューアルについても話したが、リニューアルをしたことを誰も知らなかった。特に東部地区は、普段中央図書館に行く機会もなく、内容を議論する以前に、リニューアルしたこと自体が周知されていない。せっかく良いことをしているのだから、もっと周知が必要。飲食の問題にしてもいろいろ意見はあるが、未就園児の母親としては、図書館に行きやすくなったというのが素直な気持ちである。いろいろ変えていくのはもっと先の話であって、リニューアルしたということをもっとアピールしていく方が良い。

アンケートを見ると良いという意見も悪いという意見もあるが、改修自体は良いことだったと思う。子どもたちが図書館を約束やモラルを守って利用することが10年20年と続いていくことを目的としていけば良いのではないか。このアンケートの自由記述の内容については、図書館や協議会の中で受け止めて考え、今後につなげていければ十分だと思う。みんながモラルを守れば、50代60代のかた達も居心地よく感じられるようになるのではないか。改修が成功かどうかというようなことは、もっと先のことだと思う。

会 長： 広報を含め、伝達の方法が不十分であるという意見について、その点は改善を考えているのか。もっとメディアに取り上げられる等手段を考えてみてはどうか。

事務局： 確かにそのあたりが不十分だと思う。広報紙にも載せているが、地域のコミュニティ誌などを利用して情報発信をしていくなど努力する。

会 長： その際にはソーシャルメディア、ICT（情報通信技術）の活用も検討してはどうか。吹田市ではキャラクターを作って、新着情報を含めツイッターやフェイスブック等で発信しているが箕面市はどうか。

事務局： 箕面市の図書館にも「けるた」というキャラクターがあるが、うまく活用しきれしていない。ツイッター・フェイスブック等はしていない。

委 員： 図書館だけの問題ではない。平日の親子連れということは幼稚園・保育所などに通っていない子育て層がターゲットになると思うが、情報が入りにくい層である。市役所の他部署と共同し、複合的に情報を発信することで、図書館が居場所の一つになることも大きな目的のひとつであると思う。

副会長： 図書館の照明が年配のかたにとっては暗いのではないか。一般のコーナーは間接照明にしているが、年配のかたにはもっと明るい方

が良いのではないか。

事務局： 照明については、改修前よりも照明を足しているのですが、以前に比べると一般エリアも照度で見ると明るくなっているが、入り口付近や子ども向けスペースがかなり明るくなったので、明暗の差があり暗く感じてしまうのではないか。ブラインドを開けて外からの光を取り組んだりして工夫はしている。

委員： 照明だけでなく、児童コーナーは書架も低く見通しがいいが、一般のコーナーは書架が高く見通せないのが圧迫感があるからというものもあるのではないか。慣れていくことで解決することもあるだろうが、それでも残る課題を整理していく必要がある。

委員： 「本の場所がわからない」という意見が複数あったが、新しい図書館に慣れて意見が変わるかもしれないので、時機をみてまたアンケートを実施してはどうか。

会長： 持続的なアンケートは基本的な数字になる。アンケート実施に賛同する。

事務局： 検討する。

委員： 11月実施のアンケート結果を、今回の協議会までにまとめていただいたことに感謝する。人それぞれ感じ方が違うという意見もあった。アンケートの意見を統計的にまとめるだけでなく、箕面の特徴も理解したうえで、箕面の図書館としての望ましい方向性まで分析・集約してもらえるとありがたい。

子どもに対しての教育・しつけという面では長い見通しで考えなくてはいけませんが、照明や書架の配置などはもっと短い期間で考えるべき課題もある。それらを含めて、今回のアンケートの分析、評価をしていただきたい。

会長： 箕面市民がどのような図書館を求めているのかで、そのあり方も大きく変わるが、大前提として箕面市の図書館として目指すべきあり方を共通認識しないと、枝葉末節の議論になってしまう。改めてでいいので、教えていただきたい。

事務局： この1回のアンケート結果を分析することで方向性を決めるのは難しい。またアンケートを実施するなどにより考えていきたい。

委員： 「らぶつく」という箕面市の図書館報を今は発行していないのか。

事務局： 以前発行していたが、現在は発行していない。

委員： 発行していた時はそれを見て各館の情報が分かった。

事務局： 現在は、図書館ホームページのトップページに図書館トピックスを設けていて、各図書館の活動などを紹介している。

会 長： 効果が認められないということであれば、その労力は必要なところに振り分けるべきで、それはデータを基に検証する必要があるだろう。今回は親子連れが利用しやすい図書館という前提があったが、箕面市の図書館のあり方というものが最終的には関わってくるかなので、やはり方向性を知りたいと思う。

委 員： 中央図書館の近くに住んでいて、周りの人に図書館に行く理由、行かない理由を聞いてみたので紹介する。行く理由としては「子どもにたくさん本に触れて親しんでもらいたい」、「ネットではなく本で調べてほしい」、「リニューアル後、雰囲気がよくなりゆっくり過ごせる」、「公共の場での振る舞いを社会勉強させたい」、「本が見つからないなど、思い通りにいかない環境でも解決する力を身につけて欲しい」などであった。

行かない理由としては「遠い」、「駐車場代がかかる」、「子どもが本を汚すので気になる」、「ネットで調べれば良い」、「子ども達が走り回っているのが気になる」、「習い事などで図書館に行く時間がない」などであった。

会 長： 図書館が公共性を学ばせる場所として貢献できるという意見は斬新に思った。社会教育の場として、図書館独自の教育プログラムを行ってみるのも将来的には面白いと思う。

副会長： 小・中学校や市長・部長のブログがあるが、図書館もしてみてもどうか。

委 員： 食べこぼしなどを各自が掃除できるように掃除道具を置いてはどうか。みんなできれいにするという姿勢を示した方がいいのではないか。

事務局： 現在は職員が見回って対応しているが、今後、考えていきたい。

委 員： 子どもの社会教育の場としての役割を図書館が担うというのは良いことだと思う。家族だけでなく、他人に対する配慮などを学べる場として図書館があってもよいと思う。

会 長： 自由記述の否定的な意見の中で、「騒音」、「本がない・見つからない」の2点が目立つように思う。リニューアル後に出てきた問題なのか。また、どちらも個人の感じ方や人それぞれのニーズが違うので難しいが、検討すべきことという印象をもった。

○日程第2（議案第4号）

箕面市立西南図書館の概要について

事務局から西南図書館の施設概要について、人と本を紡ぐ会から会の活動内容について、概要を説明。

西南図書館の見学実施。

○日程第3

その他

図書館システム更新の進捗状況について事務局から説明。

事務局： 8月に総合評価入札方式で京セラ丸善システムインテグレーション株式会社が落札し、来年3月1日から稼働予定である。近隣では高槻市と同じシステムとなる。

次回会議予定：3月頃